



2010年5月14日

各 位

S U N X 株 式 会 社

取締役社長 吉 村 元

(コード番号 6860 東証・名証第一部)

(決算期 3月31日)

(お問合せ先) 専務取締役 経営管理担当

三 場 宣 夫

TEL (0568) 33-7211

定款の一部変更に関するお知らせ

当社は、2010年5月14日開催の取締役会において、2010年6月16日に開催予定の第42回定時株主総会に、下記のとおり、定款の一部変更について付議することを決議いたしましたので、お知らせします。

記

1. 変更の理由

当社の商号を、2010年10月1日をもって「サンクス株式会社」から「パナソニック電工SUNX株式会社」に変更しようとするものであります。

当社は1969年、三友技術研究所として創業以来、自動化システムの五感であるセンサを核に、先進技術で半導体、電子部品製造に、産業用ロボットが活躍する製造ラインの自動化、省力化に貢献してまいりました。さらに1996年、レーザマーカを開発し、様々な製品、部品に高速かつ微細に印字するニーズに対応するなど、センシングとレーザテクノロジーの分野等で、SUNXブランドを掲げ、事業を展開してまいりました。また、1987年にパナソニック電工株式会社（以下「パナソニック電工」といいます。）と業務提携を行い、2000年にはパナソニック電工の資本が50%を超え、パナソニック電工グループの一員として現在に至っております。

今般の商号変更は、事業の両輪であるセンシングとレーザテクノロジーの「SUNX」としての企業理念と事業基盤を継承しつつ、グローバルブランド「パナソニック」を冠し、更なるグローバル企業としての成長を図る決意を表明したものであります。

この新商号が体するように、パナソニックのもつ「先進・洗練・信頼」というグローバルブランドの強みとSUNXがベンチャーとして培った「強み・らしさ」を融合させることにより、全従業員がパナソニックグループ会社の一員として、更なる企業価値向上に向け、取り組んでまいります。

なお、商号の変更は、2010年10月1日をもって効力を生じるものとし、その旨を規定する経過措置を附則に設け、効力発生後、この附則を削除するものといたします。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線___は変更部分を示します。)

現行定款	変更案
第1条（商号） 当社は、 <u>サンクス株式会社</u> と称し、英文では、 <u>SUNX Limited</u> と表示する。 （新設）	第1条（商号） 当社は、 <u>パナソニック電工SUNX株式会社</u> と称し、英文では、 <u>Panasonic Electric Works SUNX Co.,Ltd.</u> と表示する。 <u>附則</u> <u>第1条の変更は、2010年10月1日をもって効力を生じるものとする。なお、本附則は、第1条の変更の効力発生後これを削除する。</u>

以 上